

# 小平市産業振興基本計画

(平成30年度～令和9年度)

## 【平成30年度・令和元年度 進捗状況】

「目指すべき将来像」

産業とくらしが共生し、“しょく（職・食）”あふれるまち こだいら

令和2年10月  
小 平 市



# 目 次

小平市産業振興基本計画 進捗状況一覧表	1
Ⅰ 産業振興のための活動支援	1
施策1 就労・人材マッチング	1
(1) あらゆる世代への就労支援プログラム	
(2) 職住近接推進プログラム	
(3) 広域連携による就労支援プログラム	
施策2 創業支援	2
(1) 創業の場づくり支援プログラム	
(2) 創業者支援プログラム	
施策3 中小企業や農業者等の経営支援	2
(1) 中小企業や農業者等の経営支援プログラム	
(2) ICT活用支援プログラム	
Ⅱ 産業振興のための環境整備	3
施策1 企業と連携した地域経済循環の促進	3
(1) 小平産農産物の6次産業化プログラム	
(2) 地産地消促進プログラム	
(3) 企業従業員の地元消費促進プログラム	
(4) 企業と地域との連携促進プログラム	
施策2 商店街の活性化	4
(1) 商店街ブランド化プログラム	
(2) 空き店舗の利活用プログラム	
(3) イベントなどによるにぎわい創出プログラム	
施策3 観光まちづくり振興プランの推進	5
(1) 地域資源再評価プログラム	
(2) コダイラブランド・観光資源のPRプログラム	
施策4 学校との連携	6
(1) 大学や高校との連携プログラム	
(2) 学生街形成プログラム	
(3) 小・中学校連携プログラム	
施策5 農資源の活用	7
(1) 農業経営基盤強化プログラム	
(2) 農地の保全と有効活用プログラム	
(3) 地域内循環システムづくりプログラム	

小平市産業振興基本計画 進捗状況一覧表

計画の進捗状況については、「短期」として2年間の計画推進スケジュールを設定していること、また、市以外の推進主体が多いことを踏まえ、計画初年度である平成30年度については、令和元年度の実績と合わせて取りまとめを行った。

I 産業振興のための活動支援

施策1 就労支援・人材マッチング

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	市内就業者数	82,716人 (平成27年国勢調査)	—	現状以上

※計画開始後(平成30年4月以降)の数値が公表されていないため、令和元年度のKPIを「—」とした。

(1) あらゆる世代への就労支援プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	あらゆる世代へのスキルアップ研修の実施	結婚や子育てで仕事を離れた女性や働く意欲のあるシニア層に対し、新しい技術やビジネススキルなどを修得してもらう機会を設けます。	産業振興課
②	若年層への就労支援のための就職サポート	若年層の非正規雇用から正規雇用への転職やスキルに見合った就業を実現するために、関係機関と連携し人材マッチングの機会を増やします。	産業振興課
③	コミュニティビジネス(CB)、ソーシャルビジネス(SB)の支援	専門的なスキルや知識を持ったシニア層や、働く意欲のある子育て後の主婦(夫)などがCB・SBでの様々な活動によって地域の課題解決に取り組める仕組みづくりをします。	産業振興課
④	多様な保育サービスの充実	保育サービスの充実が、子育て中の女性の就労促進に寄与すると考えられることから、民間や非営利団体を活用した多様な子育て支援についての情報提供を図ります。	産業振興課 保育課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 一般社団法人すだちにおいて、ビジネススキルが身に付く研修を17回開催した。 求職中の市内在住の女性向けに就職支援セミナーを開催し、28人が参加した。 【令和元年度】 一般社団法人すだちにおいて、ビジネススキルが身に付く研修を7回開催した。 求職中の市内在住の女性向けに就職支援セミナーを開催し、58人が参加した。</p>
<p>【平成30年度】 こだいら就職情報室を通じて求人情報の提供を行うとともに、市報や市HPを通じてミニ就職面接会の開催等について、周知を図った。 【令和元年度】 こだいら就職情報室を通じて求人情報の提供を行うとともに、市報や市HPを通じてミニ就職面接会の開催等について、周知を図った。</p>
<p>【平成30年度】 一般社団法人すだちにおいて、ビジネススキルが身に付く研修を17回開催した。 【令和元年度】 一般社団法人すだちにおいて、ビジネススキルが身に付く研修を7回開催した。</p>
<p>【平成30年度】 東京都が実施している子育て応援とうきょうパスポート事業などの支援施策について、リーフレットの配架を行った。 【令和元年度】 東京都が実施している子育て応援とうきょうパスポート事業などの支援施策について、リーフレットの配架を行った。</p>

(2) 職住近接推進プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	コワーキングスペースの活用	会議室などの打ち合わせスペースを共有しながら、テレワークやフリーランスなどの個人事業主や在宅勤務者が働く場として、コワーキングスペースの充実を図ります。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 一般社団法人すだちにおいて、女性向けにコワーキングスペースの提供を行った。 【令和元年度】 一般社団法人すだちのコワーキングスペースについて、クリエイティブ職の男性も利用可能となった。</p>

(3) 広域連携による就労支援プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	近隣自治体と連携した就労支援	同じテーマで就労支援を展開している近隣の自治体と共同で、就労支援プログラムを実施します。	産業振興課
②	インキュベーション施設等の共同利用	インキュベーション施設等(コワーキングスペース、レンタルオフィス、シェアオフィスなどを含む)について、近隣の自治体や民間事業者と情報共有するとともに、共同利用できる仕組みを研究します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 東京しごとセンター多摩主催の合同就職面接会について、西東京市と連携し、平成31年2月7日に事前対策セミナーを開催した。 【令和元年度】 東京しごとセンター多摩主催の合同就職面接会について、西東京市と連携し、令和2年1月24日に事前対策セミナーを開催した。</p>
<p>【平成30年度】 中長期における施策の検討のため、東京都中小企業振興公社多摩支社や多摩信用金庫が運営する創業支援センターTAMAと多摩地域におけるインキュベーション施設等に関する情報共有や意見交換を行った。 【令和元年度】 中長期における施策の検討のため、東京都中小企業振興公社多摩支社や創業支援センターTAMAと多摩地域におけるインキュベーション施設等に関する情報共有や意見交換を行った。</p>

## 施策2 創業支援

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	新設事業所割合	18.9% (平成26年経済センサス-基礎調査)	—	20.0%

### (1) 創業の場づくり支援プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	チャレンジショップ支援	市内の空き店舗など既存ストックを活用して、試験的に商店や飲食店を開業する際の家賃補助を含むチャレンジショップ制度を支援します。	産業振興課
②	新産業の創業支援	クリエイティブ産業やICT分野におけるベンチャー企業、フリーランス事業者が市内で創業できる環境づくりについて検討します。	産業振興課

### (2) 創業者支援プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	セミナー、相談窓口の開設	創業セミナー、創業塾の実施や相談窓口での経営診断・助言を実施します。	産業振興課
②	コミュニティビジネス(CB)、ソーシャルビジネス(SB)関連セミナーの実施	CB・SBIに関するセミナーの実施や交流を図ります。	産業振興課
③	創業のための小口融資のあっせん	金融機関と協力して、フリーランスや小規模事業者への小口融資の機会を増やします。	産業振興課

## 施策3 中小企業や農業者等の経営支援

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	企業数	4,947事業所 (平成26年経済センサス-基礎調査)	—	現状以上
	農家数	312戸 (平成27年農林業センサス)	—	280戸

### (1) 中小企業や農業者等の経営支援プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	経営相談窓口の開設	中小企業や農業者への経営相談の窓口充実を図ります。	産業振興課
②	後継者育成支援	事業承継のために後継者間の交流の機会を設け、また、後継者向けセミナー、相談会などを実施します。	産業振興課

※計画開始後(平成30年4月以降)の数値が公表されていないため、令和元年度のKPIを「—」とした。なお、小平市産業振興基本計画策定時は経済センサスにおいて開業率が公表されていたためKPIとしていたが、現在はデータが削除され、実績値を把握できなくなっているため、事業所総数に占める新設事業所の割合を新たなKPIとした。

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 小平商工会を通じて、4事業者に対して家賃の支援を行った。</p> <p>【令和元年度】 小平商工会を通じて、6事業者に対して家賃の支援を行った。</p>
<p>【平成30年度】 中長期における施策の検討のため、東京都中小企業振興公社多摩支社や多摩信用金庫が運営する創業支援センターTAMAと多摩地域における創業支援施策等に関する意見交換を行った。</p> <p>【令和元年度】 中長期における施策の検討のため、東京都中小企業振興公社多摩支社や創業支援センターTAMAと多摩地域における創業支援施策等に関する意見交換を行った。</p>

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 創業個別相談を毎月1回開催するとともに、小平商工会や金融機関と連携し、創業塾を1回、創業セミナーを2回開催した。</p> <p>【令和元年度】 創業個別相談を毎月1回開催するとともに、小平商工会や金融機関と連携し、創業塾を1回、創業セミナーを2回開催した。</p>
<p>【平成30年度】 一般社団法人すだちにおいて、ビジネススキルが身に付く研修を17回開催した。</p> <p>【令和元年度】 一般社団法人すだちにおいて、ビジネススキルが身に付く研修を7回開催した。</p>
<p>【平成30年度】 金融機関と連携し、創業資金の融資あっせんを7件行った。</p> <p>【令和元年度】 金融機関と連携し、創業資金の融資あっせんを8件行った。</p>

※計画開始後(平成30年4月以降)の数値が公表されていないため、令和元年度のKPIを「—」とした。

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 国が各都道府県に設置しているよろず支援拠点の周知を図るとともに、小平商工会において、東京都商工会連合会と連携した経営相談を行った。</p> <p>【令和元年度】 よろず支援拠点の周知を図るとともに、小平商工会において、東京都商工会連合会と連携した経営相談を行った。</p>
<p>【平成30年度】 小平商工会において、市内事業者に対して事業承継に係るアンケート調査を行った。</p> <p>【令和元年度】 小平商工会において、事業承継を実際に検討している事業者向けのセミナーを9月10日に開催した。</p>

③	近隣自治体と連携した経営支援	経営支援セミナーなどを近隣自治体と情報共有し、広域的な連携体制の構築を推進します。	産業振興課
---	----------------	---	-------

【平成30年度】  
近隣自治体が開催する経営支援セミナー等のパンフレットを配架し情報共有を図るとともに、広域的な連携体制の構築に向け、東京都中小企業振興公社多摩支店と意見交換を行った。  
【令和元年度】  
近隣自治体が開催する経営支援セミナー等のパンフレットを配架し情報共有を図るとともに、広域的な連携体制の構築に向け、東京都中小企業振興公社多摩支店と意見交換を行った。

## (2) ICT活用支援プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	ICT活用のためのセミナー、相談窓口の開設	近隣自治体などと連携し、共同で、中小企業等に向けたICT活用セミナーの開催や相談窓口の開設を検討します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況

【平成30年度】  
よろず支援拠点や小平商工会において、ICTに係る相談受付を行うとともに、広域的な連携体制の構築に向け、東京都中小企業振興公社多摩支店と意見交換を行った。  
【令和元年度】  
よろず支援拠点や小平商工会において、ICTに係る相談受付を行うとともに、広域的な連携体制の構築に向け、東京都中小企業振興公社多摩支店と意見交換を行った。

## II 産業振興のための環境整備

### 施策1 企業と連携した地域経済循環の促進

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	地域経済循環率	82.2% (平成25年RESAS)	—	現状以上

※計画開始後(平成30年4月以降)の数値が公表されていないため、令和元年度のKPIを「—」とした。なお、地域経済循環率の計算に使用される国民経済計算が改定されたことに伴い、平成25年の値が変更されたため、「現状」の値の修正を行っている。

### (1) 小平産農産物の6次産業化プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	異業種間連携による小平産農産物の6次産業化	農業者と加工業者、商店・飲食店を連携させて、ブルーベリーをはじめとする小平産農産物の加工・販売までを一貫して行うとともに、ブランド商品の開発を支援します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況

【平成30年度】  
農・商・観光が連携した市内回遊型イベント「めぐりん小平」を開催し、異業種間連携の推進を図るとともに、小平産農産物を使ったメニューでグランプリを競うグルメコンテストに対して支援を行った。  
【令和元年度】  
めぐりん小平やグルメコンテストに対して支援を行うとともに、JAと大手コンビニチェーンが連携し、小平産ブルーベリーを使った期間限定の大幅を商品化した。

### (2) 地産地消促進プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	学校給食での小平産農産物の利用	市内の学校での給食における小平産農産物の使用割合を高めるため関係機関が連携して取り組みます。	産業振興課 学務課
②	直売所での農産物販売促進	市内で小平産農産物を購入できる場や機会を増やして、地元の農産物への理解と消費を促進します。	産業振興課
③	食育のための農地の活用	農業に対する児童・生徒の理解を深めてもらうために、農業者の協力により学童農園を引き続き設置し、農業体験の場の充実を図ります。	産業振興課 指導課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況

【平成30年度】  
学校給食に使用する小平産農産物の購入費や搬入費に対して支援を行い、小平産農産物の利用状況が小学校で29.3%、中学校で26.9%となった。  
【令和元年度】  
学校給食に使用する小平産農産物の購入費や搬入費に対して支援を行い、小平産農産物の利用状況が小学校で31.4%、中学校で31.7%となった。

【平成30年度】  
JAやこたいら観光まちづくり協会による農業ふれあいツアーや農産物即売会などのイベントを通じて、小平産農産物への理解と消費の促進を図った。  
【令和元年度】  
JAやこたいら観光まちづくり協会による農業ふれあいツアーや農産物即売会などのイベントを通じて、小平産農産物への理解と消費の促進を図った。

【平成30年度】  
市内の全小学校(19校)で学童農園を実施し、農家の指導により、児童が教育活動の中で、農作物の種まきや収穫などの体験学習を行った。  
【令和元年度】  
市内の全小学校(19校)で学童農園を実施し、農家の指導により、児童が教育活動の中で、農作物の種まきや収穫などの体験学習を行った。

### (3) 企業従業員の地元消費促進プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	企業の福利厚生サービスとの連携	企業の福利厚生施設等での小平産農産物やコダイラブランドなどの特産品のPRと販売を行う機会を支援します。	産業振興課
②	イベントを通じた情報提供	企業従業員向けに小平産農産物・特産品の試食・販売の機会を設けるなど、情報発信を推進します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 市内大手事業所が開催する納涼祭等において、JAが小平産農産物等の販売を行った。</p> <p>【令和元年度】 市内大手事業所が開催する納涼祭等において、JAが小平産農産物等を、こだいら観光まちづくり協会がコダイラブランド商品等の販売を行った。</p>
<p>【平成30年度】 市内大手事業所が開催する納涼祭等において、JAが小平産農産物等の販売を行った。</p> <p>【令和元年度】 市内大手事業所が開催する納涼祭等において、JAが小平産農産物等を、こだいら観光まちづくり協会がコダイラブランド商品等の販売を行った。</p>

### (4) 企業と地域との連携促進プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	CSR・CSVによる地域との連携促進	CSR・CSVに関心のある企業に対して、市で行っている事業や社会貢献活動の情報提供などにより参加を働きかけます。	産業振興課
②	ビジネスマッチングの機会づくり	関係機関等と連携して、市内の大企業、中小企業及び農業者のビジネスマッチングを促すための仕組みについて検討します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 市内大手事業所の従業員が、花小金井駅北口の花壇の植え替えや灯りまつりにボランティアとして参加した。</p> <p>【令和元年度】 市内大手事業所の従業員が、花小金井駅北口の花壇の植え替えや灯りまつりにボランティアとして参加した。</p>
<p>【平成30年度】 ビジネスマッチングを促す仕組みについて検討するため、小平二水会、小平商工会及びJAとそれぞれ意見交換を行った。</p> <p>【令和元年度】 中長期における施策の検討のため、小平二水会、小平商工会及びJAとそれぞれ意見交換を行った。</p>

## 施策2 商店街の活性化

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	店舗数 (卸・小売・宿泊・飲食サービス業)	1,784 (平成26年経済センサス-基礎調査)	—	現状以上

※計画開始後(平成30年4月以降)の数値が公表されていないため、令和元年度のKPIを「—」とした。

### (1) 商店街ブランド化プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	商店街の個性化	各商店街が立地する地域特性に対応した個性化を目指し、商店街の独自性が高まることでの魅力向上を図ります。	産業振興課
②	商店会の組織力強化等	商店会の組織力や財務力等を強化し、環境整備や共同事業を円滑に進める商店会を支援します。	産業振興課
③	公共交通機関を活用した回遊性の向上	既存のコミュニティバス・コミュニティタクシーなどによって、商店街間の移動と市内の回遊性を高めるとともに、広域で連携する仕組みづくりを検討します。	公共交通課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 自治会と連携した商店会イベント3件に対して支援を行った。</p> <p>【令和元年度】 自治会及び商店街内の障がい者施設と連携したイベント1件に対して支援を行った。</p>
<p>【平成30年度】 東京都による組織力強化に向けた支援施策について、情報提供を行った。</p> <p>【令和元年度】 東京都による組織力強化に向けた支援施策について、情報提供を行った。</p>
<p>【平成30年度】 南西部地域でコミュニティタクシーの実証実験運行を実施した。 利用促進と経済活性化のため、沿線商店と連携した「にじバス・ぶるペー号サンクスクーポン」事業を実施した。</p> <p>【令和元年度】 南西部地域でコミュニティタクシーの実証実験運行を実施するとともに、利用促進と経済活性化のため、沿線商店と連携した「にじバス・ぶるペー号サンクスクーポン」事業を実施した。 また、市内の回遊性を高めるため、にじバス・ぶるペー号で共通利用できる回数券や1日乗車券を市報やチラシ等でPRして活用に努めた。</p>

## (2) 空き店舗の利活用プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	空き店舗の改修支援	空き店舗の改修を支援し有効活用を図ります。	産業振興課
②	空き店舗の公共利用	コミュニティ施設や福祉施設として空き店舗を公共的に有効活用する方策を研究します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 空き店舗の改修を含む、市内店舗の改修工事に対して10件の支援を行った。 【令和元年度】 空き店舗の改修を含む、市内店舗の改修工事に対して11件の支援を行った。</p> <p>【平成30年度】 空き店舗の公共的な有効活用に向けて、他市等の取組について情報収集を行った。 【令和元年度】 空き店舗の公共的な有効活用に向けて、他市等の取組について情報収集を行った。</p>

## (3) イベントなどによるにぎわい創出プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	商店街でのイベントの実施	商店街が取り組む食に関するイベントや、まちあるきイベントなどを引き続き支援するとともに、新たな企画を検討をします。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 ハロウィンパレードなどの商店街内を巡るイベントや、こだいら観光まちづくり協会によるまち巡りに対して支援を行った。 【令和元年度】 商店街内を巡るイベントやまち巡りに対して支援を行うとともに、新たに商店会が企画したイベントに対して支援を行った。</p>

## 施策3 観光まちづくり振興プランの推進

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	アクションプラン50の達成数	13 (平成28年度)	43	50

## (1) 地域資源再評価プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	既存の観光資源の活用	小平グリーンロード（玉川上水など）、FC東京小平グラウンドなど既存の観光資源を市内外へ更にPRする新たな施策を検討し、訪問者増加を目指します。	産業振興課
②	農空間の活用	体験農園の充実、農業公園の整備について研究し、農空間を活用した観光資源の充実を目指します。	産業振興課 水と緑と公園課
③	新規観光ルートの開発	市内にある観光資源を連携させ、新たな観光ルートを開発します。	産業振興課
④	シェアサイクルの活用	いくつかのサイクルポートを拠点にして自転車をレンタルするシェアサイクルにより、市内での回遊性を高めるとともに、広域で連携する仕組みづくりを研究します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 こだいら観光まちづくり協会が発行した観光総合ガイドブック(2万部)の作成に対して支援を行った。 【令和元年度】 こだいら観光まちづくり協会が発行した多言語版(英・中・韓)の観光総合ガイドブック(各5千部)の作成に対して支援を行った。</p> <p>【平成30年度】 体験農園園主会と意見交換を行うとともに、農業公園として整備を予定している鎌倉公園について、ポスティングにより近隣住民へ周知を図った。 【令和元年度】 体験農園園主会と意見交換を行うとともに、農業公園として整備を予定している鎌倉公園について、ワークショップ等を実施し、市民の意見を聞きながら今後の整備方針について検討を行った。</p> <p>【平成30年度】 こだいら観光まちづくり協会において、新たなまち巡りルートを設定した。 【令和元年度】 こだいら観光まちづくり協会において、新たなまち巡りルートを設定した。</p> <p>【平成30年度】 こだいら観光まちづくり協会やシェアサイクル事業者等と意見交換等を行った。 【令和元年度】 こだいら観光まちづくり協会がシェアサイクル事業者と連携して、市内の公共施設等にシェアサイクルステーションを17ヶ所設置した。</p>



## (2) コダイラブランド・観光資源のPRプログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	コダイラブランドのPR	市内事業者や関係機関が連携し、コダイラブランドの広報に努め、認知度向上を図ります。	産業振興課
②	SNSによる観光情報発信	市民や関係機関が主体となって市内事業者と連携し、SNSを活用した観光情報の発信を検討します。	産業振興課
③	映画やアニメの舞台の誘致	関係機関と連携し、多くの人の目に触れる映画の撮影場所やアニメの舞台となり、知名度向上を目指すために、受入態勢を整えます。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 ふるさと納税の返礼品に使用するとともに、市の功労者表彰等の贈呈品にコダイラブランドの詰め合わせを提供し、認知度向上を図った。</p> <p>【令和元年度】 ふるさと納税の返礼品に使用するとともに、市の功労者表彰等の贈呈品にコダイラブランドの詰め合わせを提供し、認知度向上を図った。</p>
<p>【平成30年度】 こだいら観光まちづくり協会において、Twitter及びFacebookでイベント情報などを発信した。</p> <p>【令和元年度】 こだいら観光まちづくり協会において、Twitter及びFacebookでイベント情報などを発信した。</p>
<p>【平成30年度】 映画やアニメの舞台誘致の態勢整備に向けて、こだいら観光まちづくり協会において、都内で先駆的な取組を行っている観光協会等と意見交換を行った。</p> <p>【令和元年度】 映画やアニメの舞台誘致の態勢整備に向けて、こだいら観光まちづくり協会において、都内で先駆的な取組を行っている観光協会等と意見交換を行った。</p>

## 施策4 学校との連携

### (1) 大学や高校との連携プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	インターンシップの受け入れ支援	市内の事業者が地元の学生をインターンシップとして受け入れることで、事業所と学校・学生との結びつきを強化します。	産業振興課
②	学校と商店街との連携	商店街の近隣の学校の生徒・学生を巻き込んだまちの活性化を推進します。	産業振興課
③	地元の大学等の特長・専門性の活用	市内外に立地する大学等の研究・教育機関の専門的知識や人材を活用した、新しいビジネスや新技術の開発の促進について研究します。	市民協働・男女参画推進課 産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 市内事業者による地元学生のインターンシップ受け入れに向け、市内事業者等と意見交換を行った。</p> <p>【令和元年度】 市内事業者による地元学生のインターンシップ受け入れに向け、市内事業者等と意見交換を行った。</p>
<p>【平成30年度】 小学校のよさこいチームや中学校の吹奏楽部と連携した商店会イベント9件に対し支援を実施するとともに、商店会イベントに近隣大学の学生がイベントスタッフとして参加した。</p> <p>【令和元年度】 小学校のよさこいチームや中学校の吹奏楽部と連携した商店会イベント8件に対し支援を実施するとともに、商店会イベントに近隣大学の学生がイベントスタッフとして参加した。</p>
<p>【平成30年度】 大学等の研究・教育機関の専門的知識や人材を活用した新ビジネス等開発の促進に向け、小平商工会を通じて、嘉悦大学等と事業者訪問などを行った。</p> <p>【令和元年度】 大学等の研究・教育機関の専門的知識や人材を活用した新ビジネス等開発の促進に向け、小平商工会を通じて、嘉悦大学等と事業者訪問などを行った。</p>

### (2) 学生街形成プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	市内での滞在時間を増やす環境整備	自宅や職場・学校とは異なる空間としての商店街でのサードプレイスの整備について研究し、学生の滞在時間を増やすことで地域活性化を推進します。	産業振興課
②	市内居住の促進	学生の市内居住割合を高めるために、低未利用不動産の活用を検討しながら、若い世代の人々が住みたくなるような住環境の整備に取り組みます。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 学生の市内での滞在時間を増やし、地域活性化を推進するため、他市等の取組について情報収集を行った。</p> <p>【令和元年度】 学生の市内での滞在時間を増やし、地域活性化を推進するため、他市等の取組について情報収集を行った。</p>
<p>【平成30年度】 若い世代が住みたくなるような住環境について、商店会等と意見交換を行った。</p> <p>【令和元年度】 若い世代が住みたくなるような住環境について、商店会等と意見交換を行った。</p>

(3) 小・中学校連携プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	市内の事業所や農家の見学	地元小・中学校に対し、市内事業所や農家などの見学機会の提供を検討します。	産業振興課 学務課
②	商店街のイベントと学校の連携	商店街で開催されるイベントと地元小・中学校が連携した取組を支援し、児童・生徒の地域への参加を促します。	産業振興課 学務課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 市内の全小学校(19校)で学童農園を実施し、農作物の種まきや収穫などの体験学習を行うとともに、市内事業者の企業博物館において社会科見学の受け入れを行った。</p> <p>【令和元年度】 市内の全小学校(19校)で学童農園を実施し、農作物の種まきや収穫などの体験学習を行うとともに、市内事業者の企業博物館において社会科見学の受け入れを行った。</p>
<p>【平成30年度】 小学校のよさこいチームや中学校の吹奏楽部と連携した商店街イベント9件に対し支援を実施した。</p> <p>【令和元年度】 小学校のよさこいチームや中学校の吹奏楽部と連携した商店街イベント8件に対し支援を実施した。</p>

施策5 農資源の活用

指標	KPI	現状	令和元年度	目標
	農地面積減少率を12%に抑える	191ha (平成28年農林業センサス)	—	165ha

※計画開始後(平成30年4月以降)の数値が公表されていないため、令和元年度のKPIを「—」とした。

(1) 農業経営基盤強化プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	補助金等の活用	国や都の補助制度や農業制度資金の利用について研究します。	産業振興課
②	担い手の確保	税制等の課題を整理しながら、就農希望者を地域として受入れるなど、多様な担い手の確保について研究します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 都の補助制度を活用し、パイプハウスや養液栽培システム等の整備を行う農業者を支援した。</p> <p>【令和元年度】 都の補助制度を活用し、防災兼用農業用井戸を7か所整備した。</p>
<p>【平成30年度】 JAと連携し、新規就農者を2名受け入れるとともに、援農ボランティアを新たに11名登録した。</p> <p>【令和元年度】 JAと連携し、新規就農者を3名受け入れるとともに、援農ボランティアを新たに18名登録した。</p>

(2) 農地の保全と有効活用プログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	市民への情報発信	生産緑地のもつ意義をさまざまな機会を通じて市民に発信し、生産緑地が都市生活に欠かせない多様な機能を持つことへの理解を促します。	産業振興課 都市計画課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 市HPや農地の立て看板設置等を通じて、防災協力農地について市民への啓発や周知を図った。</p> <p>【令和元年度】 市HPや農地の立て看板設置等を通じて、防災協力農地について市民への啓発や周知を図った。</p>

(3) 地域内循環システムづくりプログラム

No.	事業項目	概要	担当課
①	直売所の拡充	市内の企業と協力し、直売スペース設置の需要を検討します。また、商店街に直売スペースを出店するなど、既存商業施設との連携を探ります。	産業振興課
②	農業体験を通じた啓発活動	市民や市内在勤者の農業体験への参加を促します。	産業振興課
③	地産地消に向けた流通方法	関係機関と連携し、小平産農産物の運搬方法や集荷について検討し、地産地消を推進します。	産業振興課

平成30年度・令和元年度の主な実施状況
<p>【平成30年度】 観光農業協会において、商店街内の商業施設等と連携した夏の朝市やクリスマスマルシェ等を開催し、小平産農産物の即売を行った。</p> <p>【令和元年度】 こだいら観光まちづくり協会において、商店街内の商業施設等と連携した夏の朝市やクリスマスマルシェ等を開催し、小平産農産物の即売を行った。</p>
<p>【平成30年度】 JAによる農業ふれあいツアーや農業経営者クラブによる消費者交流会、JAと連携した援農ボランティア募集等を通じて、市民や市内在勤者に農業体験への参加を促した。</p> <p>【令和元年度】 JAによる農業ふれあいツアーや農業経営者クラブによる消費者交流会、JAと連携した援農ボランティア募集等を通じて、市民や市内在勤者に農業体験への参加を促した。</p>
<p>【平成30年度】 小平産農産物の流通方法の検討のため、JAや農業者と意見交換を行った。</p> <p>【令和元年度】 小平産農産物の流通方法の検討のため、JAや農業者と意見交換を行った。</p>

小平市産業振興基本計画  
(平成30年度～令和9年度)  
【平成30年度・令和元年度 進捗状況】

令和2年10月発行

編集・発行 小平市地域振興部産業振興課  
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1,333番地  
電話番号 042(346)9534  
FAX 042(346)9575  
電子メール sangyoshinko@city.kodaira.lg.jp

価格 ￥40